

<活動報告書>

フリガナ	ニシニホンコウトウガッコウドボクキョウイクケンキュウカイ ヤマグチタイカイ	
①団体名・学校名	西日本高等学校土木教育研究会山口大会	
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	建設工学科 土木コース教諭
	TEL	083-258-0065
	E-mail	
③申請テーマ	研究発表並びに講演等の研修会	
④活動期間	令和3年8月 ~ 令和4年12月	
⑤活動内容を記載	別紙大会プログラム参照 1 開会行事 2 総会 3 講演 「市民の生活を守る道路とその被災・復旧」 講師 山口大学大学院 創成科学研究科 工学系学域社会建設工学分野 教授 地域防災・減災センター センター長 鈴木 素之 様 4 研究協議 ア 中国地区「『土木の担い手事業』との連携について」 鳥取県立米子工業高等学校 建設科土木コース 梶谷 正志 イ 近畿地区「3Dモデルの活用とVRツアーの作成」 大阪府立西野田工科高等学校 建築都市工学系 近藤 大地 ウ 四国地区「機械土木工学科(土木コース)の取り組みについて」 愛媛県立八幡浜工業高等学校 機械土木工学科(土木コース) 石田 洋市 エ 九州地区「土木科課題研究の取り組みについて」 大分県立大分工業高等学校 土木科 津崎 周平 5 閉会行事	
⑥活動費用合計	941,511 円	
⑦別紙説明資料の有無	ある ・ なし	

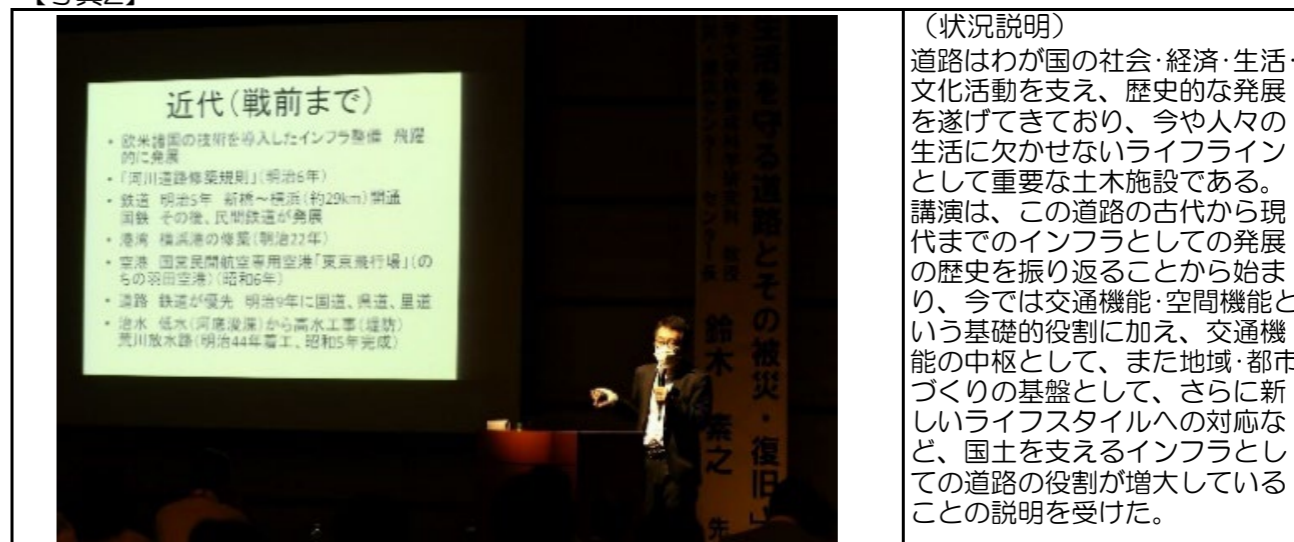
<活動状況写真>

【写真1】



(状況説明)  
(1) 議長選出  
(2) 議事  
・令和3年度事業報告  
・令和3年度決算報告  
・令和3年度会計監査報告  
・令和4年度役員(案)審議  
・令和4年度事業計画(案)審議  
・令和4年度予算(案)審議  
・議長解任  
上記議事については、すべて承認された。  
・教職員表彰  
西頭道彦(四国)、黒田哲也(四国) 西川和弘(九州) 3名

【写真2】



(状況説明)  
道路はわが国の社会・経済・生活・文化活動を支え、歴史的な発展を遂げてきており、今や人々の生活に欠かせないライフラインとして重要な土木施設である。講演は、この道路の古代から現代までのインフラとしての発展の歴史を振り返ることから始まり、今では交通機能・空間機能という基礎的役割に加え、交通機能の中核として、また地域・都市づくりの基盤として、さらに新しいライフスタイルへの対応など、国土を支えるインフラとしての道路の役割が増大していることの説明を受けた。

【写真3】



(状況説明)  
近畿、中国、四国、九州の4地域から、先生方の研究発表をいただき、各学校の取り組みや、最先端の技術を使った授業について報告があった。